



イボヨフバイ（新腹足目ムシロガイ科） *Nassarius coronatus*

大きさ：殻長 3cm ほど。

特 徴：殻は重厚で光沢がある。干潟で潮干狩りをしていると、底質からはい出してくる。

分 布：奄美諸島以南：熱帯インド・太平洋。

泡瀬地区の干潟周辺（砂州周辺）で多く観察できる。

北日本では「ツブ」と称して重要な食用種が多いが、沖縄などの熱帯海域は小型の種が多く、ほとんど食用にはされていない。

しかし、ウスイロバイという種類は、食用として、かなり美味であり、中城湾や金武湾では漁も行われていた。ただし、近年は資源がかなり減少し、操業を控えている。

生態的には海の掃除屋として、存在意義はかなり大きい。